

〔資料編〕：

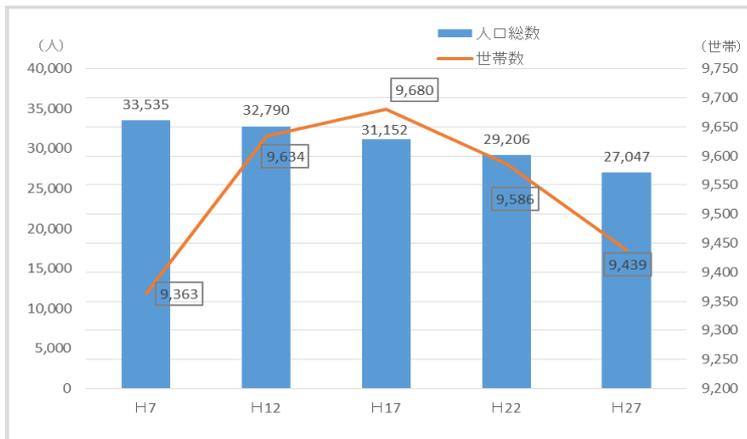
1. 人口と世帯構成

少子高齢化が進むとともに、核家族や単独世帯が増加している現状であることから、世代間での食育の機会が少なくなり、食に関する知識や食文化等が伝承されにくい環境になっていくことが考えられます。

(1) 人口と世帯数の推移

総人口は減少している。世帯数については、増加傾向にあったが、再び減少している。

【資料：国勢調査】

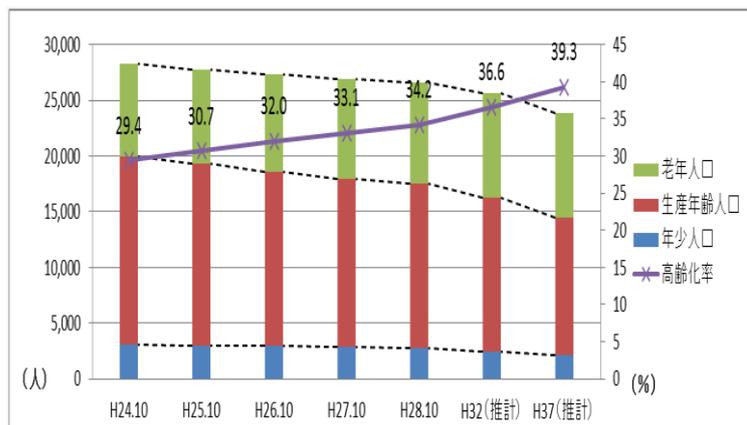


(2) 人口と年齢構成の推移

年齢構成別人口は、年少人口、生産年齢人口は減少しているが、高齢人口は増加している。高齢化率は30%を超えている。

【出典：人口推計(総務省)、毎月人口調査(栃木県)、推計値は日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)】

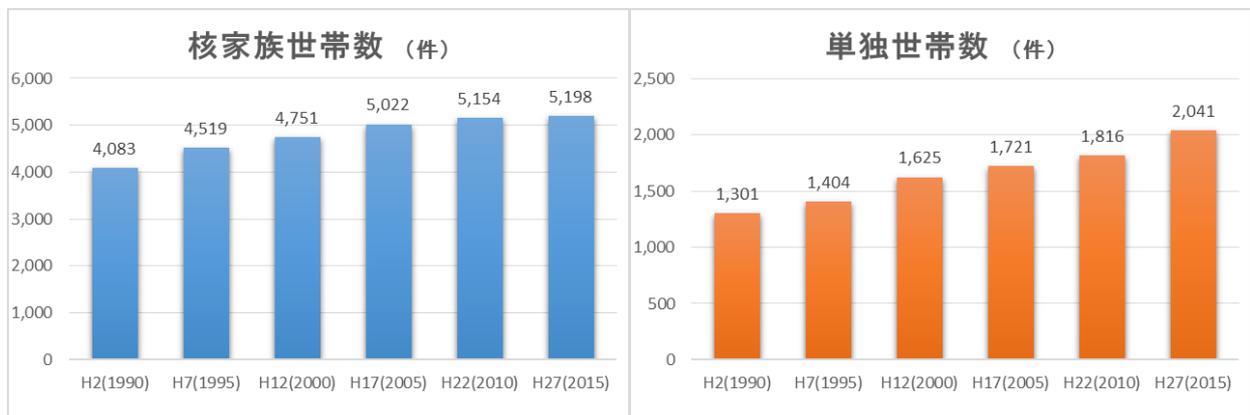
		H24.10	H25.10	H26.10	H27.10	H28.10	H32(推計)	H37(推計)
市の人口	総人口	28,254	27,797	27,397	26,906	26,654	25,617	23,839
	年少人口	3,070	2,994	2,920	2,836	2,768	2,440	2,106
	生産年齢人口	16,865	16,277	15,701	15,152	14,772	13,808	12,353
	老年人口	8,319	8,526	8,751	8,918	9,114	9,369	9,380
高齢化率	市	29.4	30.7	32.0	33.1	34.2	36.6	39.3
	県	23.2	24.2	25.1	26	26.7	29.1	30.8
	全国	24.1	25.1	25.9	26.7	27.3	29.1	30.3



(3) 核家族及び単独世帯数の推移

核家族世帯数と単独世帯数は、年々増加している。

(資料：国勢調査)



*核家族世帯：夫婦のみ、親と子の世帯

*単独世帯：世帯人員が一人の世帯

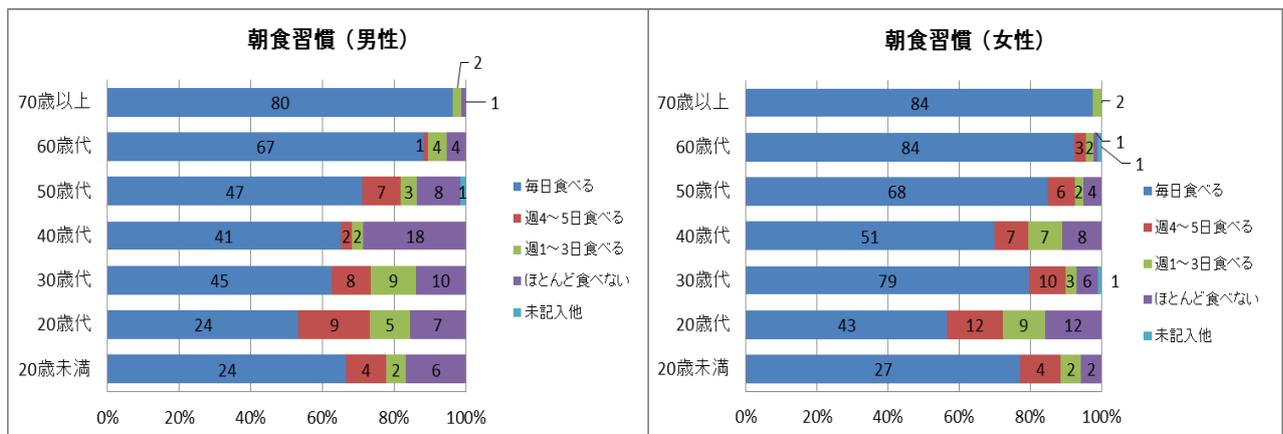
2. 平成27生活習慣実態調査結果 (抜粋)

(1) 18歳以上の市民

※グラフ内の数値は人数

1) 朝食習慣

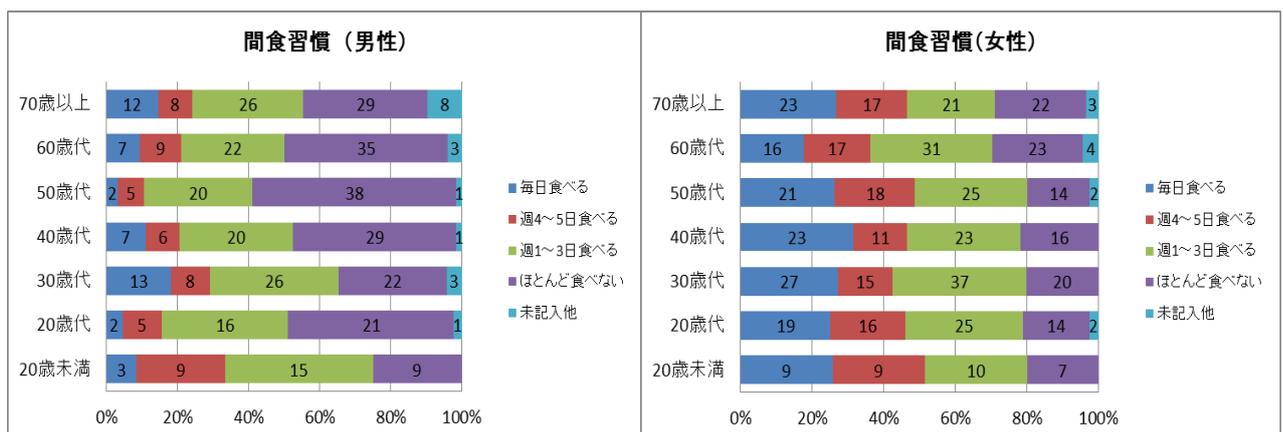
どの年代も女性よりも男性の方が欠食率が高い傾向にある。



2) 間食習慣

※グラフ内の数値は人数

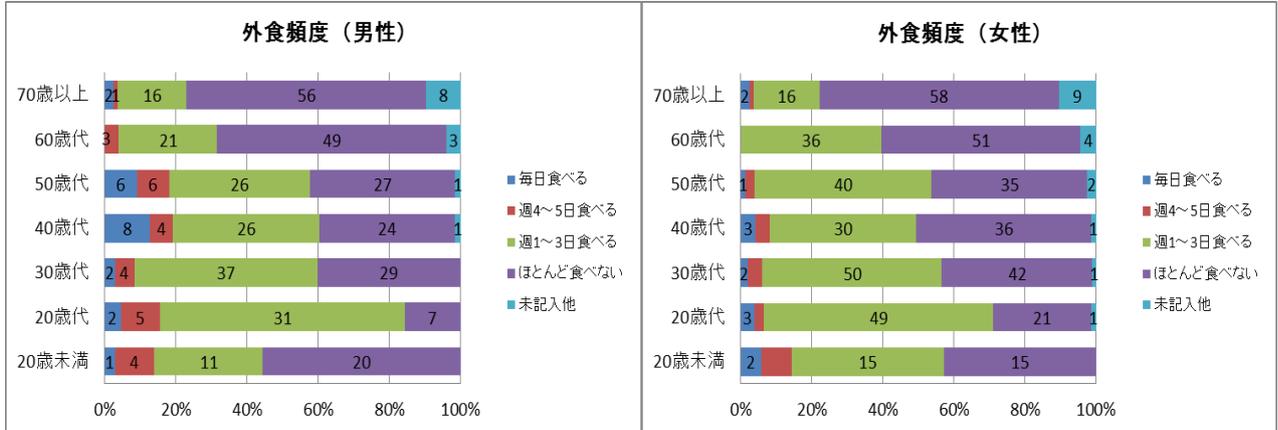
男性では「ほとんど食べない」と答えた人の割合が高い。女性は間食習慣がある人の割合が高い。



3) 外食習慣

※グラフ内の数値は人数

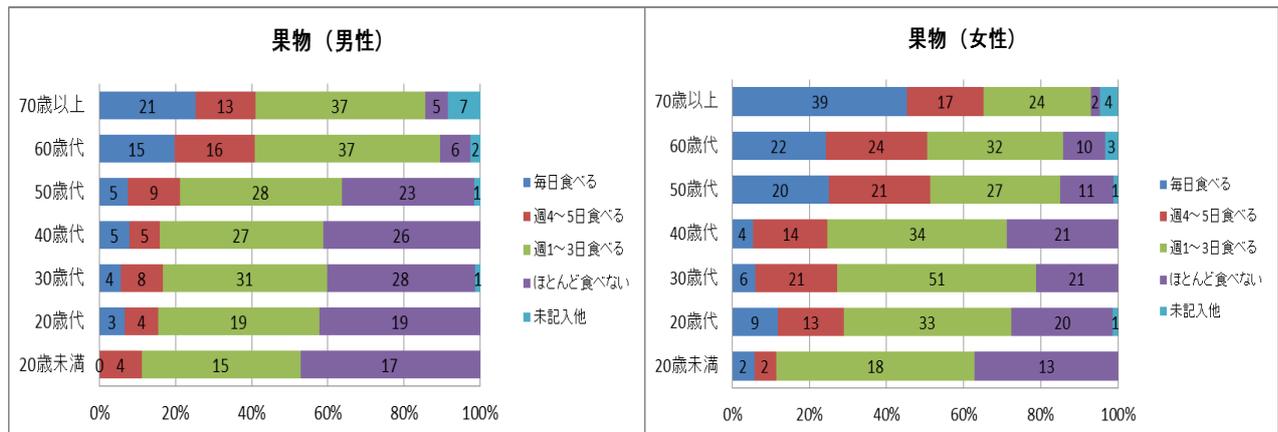
女性に比べ男性の方が外食頻度が多いと答えた人の割合が高い。男性の40代、50代の外食頻度が高く、週4日以上と答えた人が約2割いる。「週1～3日食べる」と答えた人は男性よりも女性の方が多い。



4) 果物摂取

※グラフ内の数値は人数

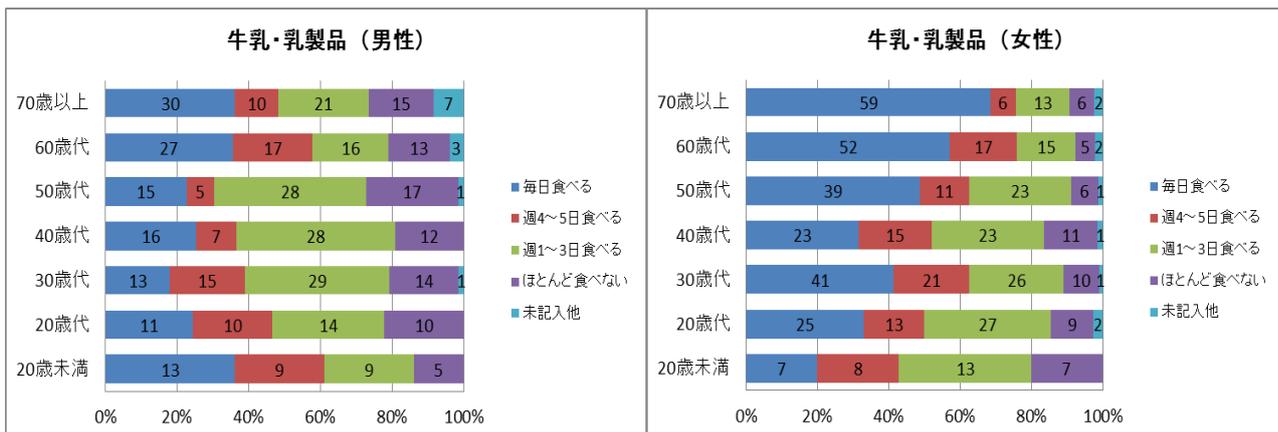
年齢が上がるにつれて摂取頻度が高くなっている。男性に比べ女性の方が多く摂取する傾向にある。



5) 牛乳・乳製品摂取

※グラフ内の数値は人数

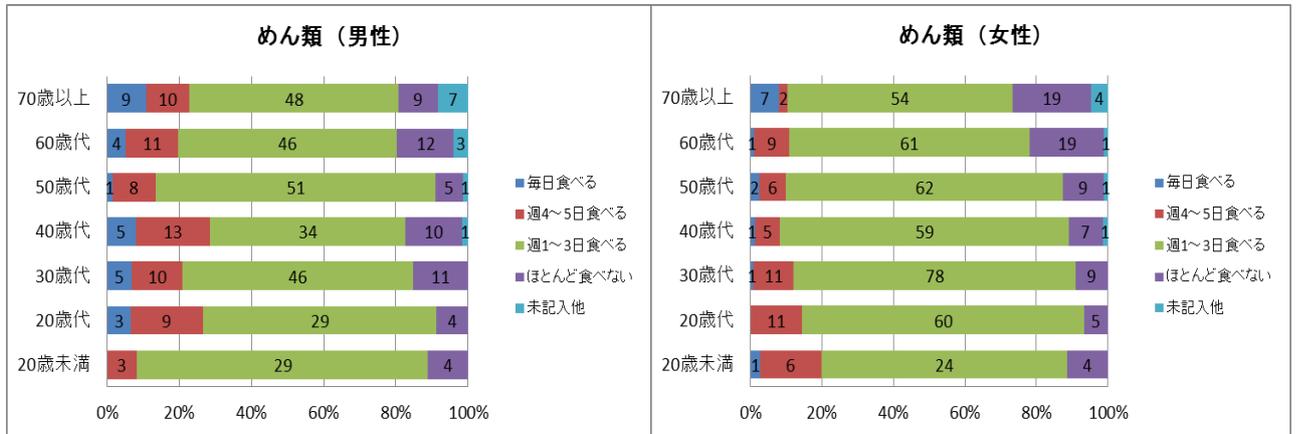
年齢が上がるにつれて摂取頻度が高くなっている。男性に比べ女性の方が多く摂取する傾向にある。



6) めん類摂取

※グラフ内の数値は人数

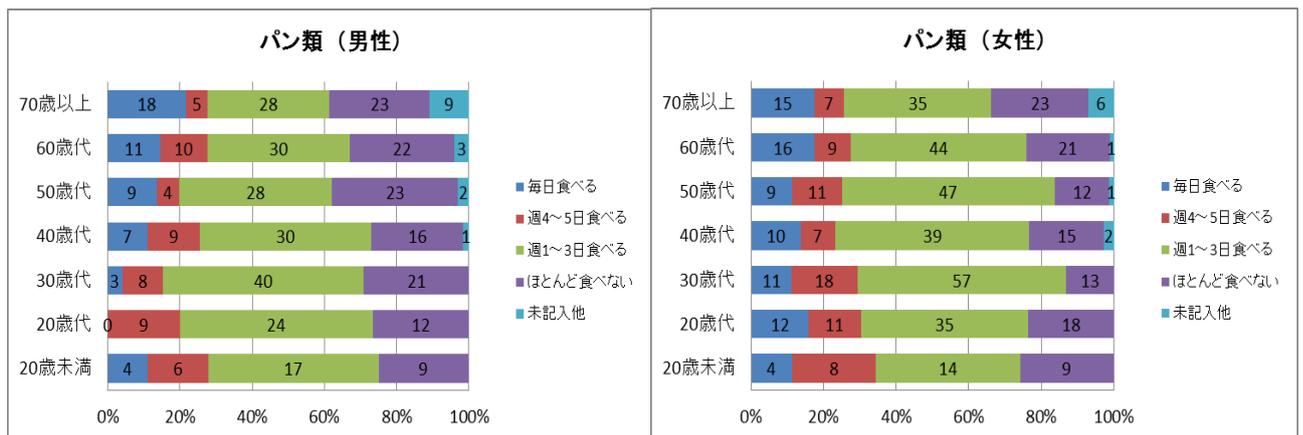
男女ともに「週1～3日食べる」割合が高い。20代以降、週4日以上食べる割合は、女性に比べ男性が高い（約2倍）。



7) パン類摂取

※グラフ内の数値は人数

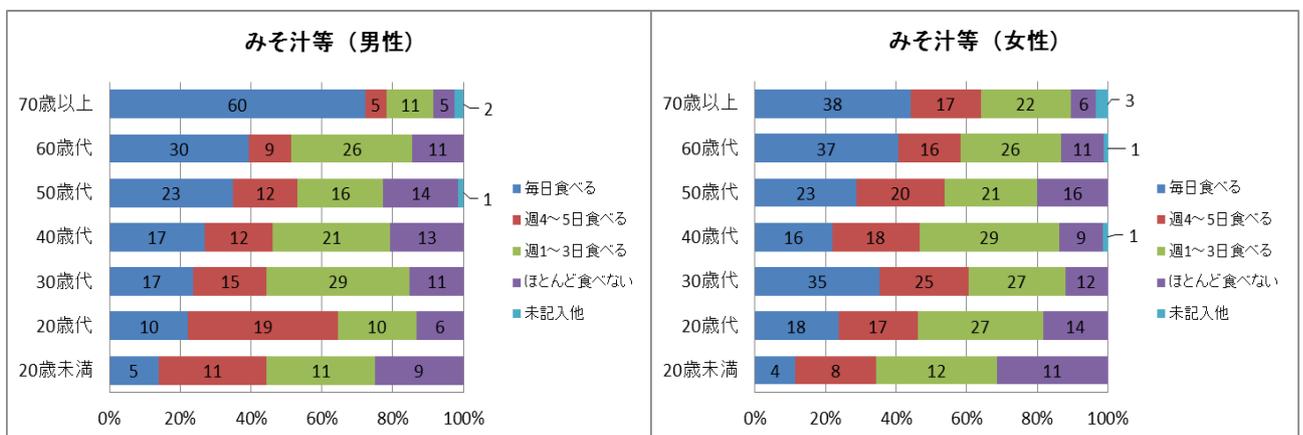
高齢になると、パンを毎日食べる人の割合が高くなる傾向がある。



8) みそ汁等摂取

※グラフ内の数値は人数

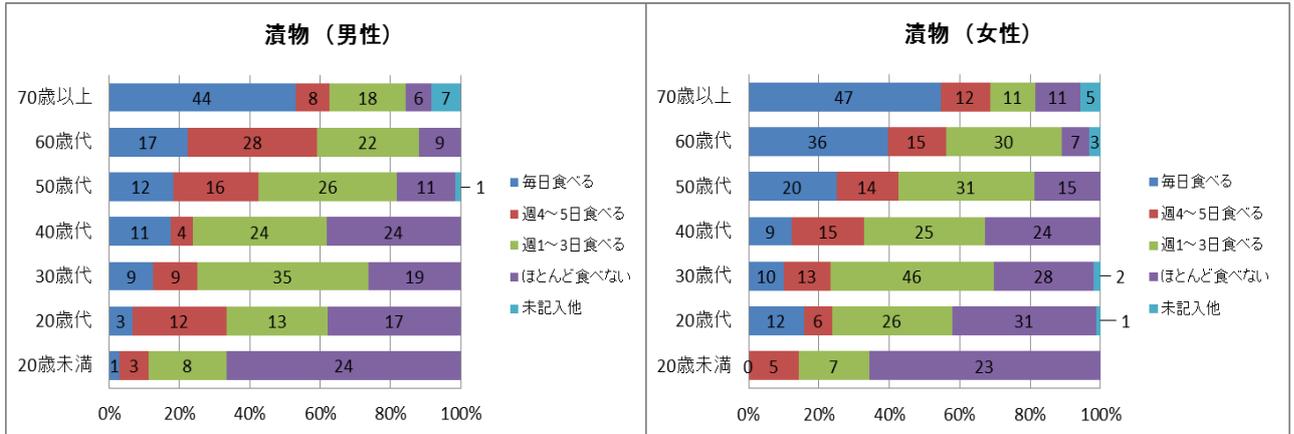
年齢が上がるにつれて、みそ汁を食べる頻度が増えている。特に70代以上の男性は毎日食べる人が7割以上いる。



9) 漬物摂取

※グラフ内の数値は人数

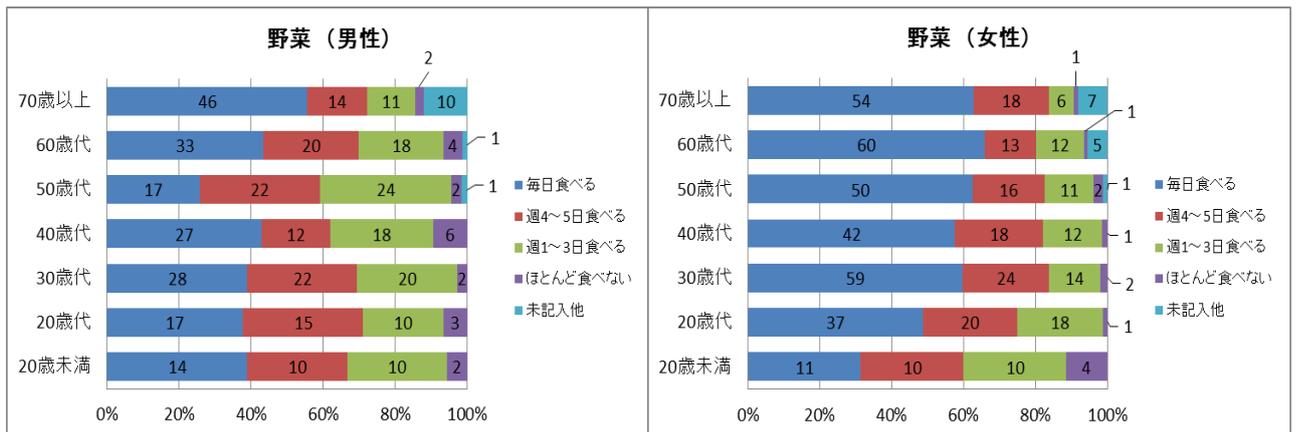
年齢が上がるにつれて摂取頻度が増えている。男性よりも女性が頻回にとる割合が高い。



10) 野菜摂取（漬物以外）

※グラフ内の数値は人数

漬物以外の野菜を毎日食べている人の割合が低い。特に男性では毎日食べていない人の割合が高い。

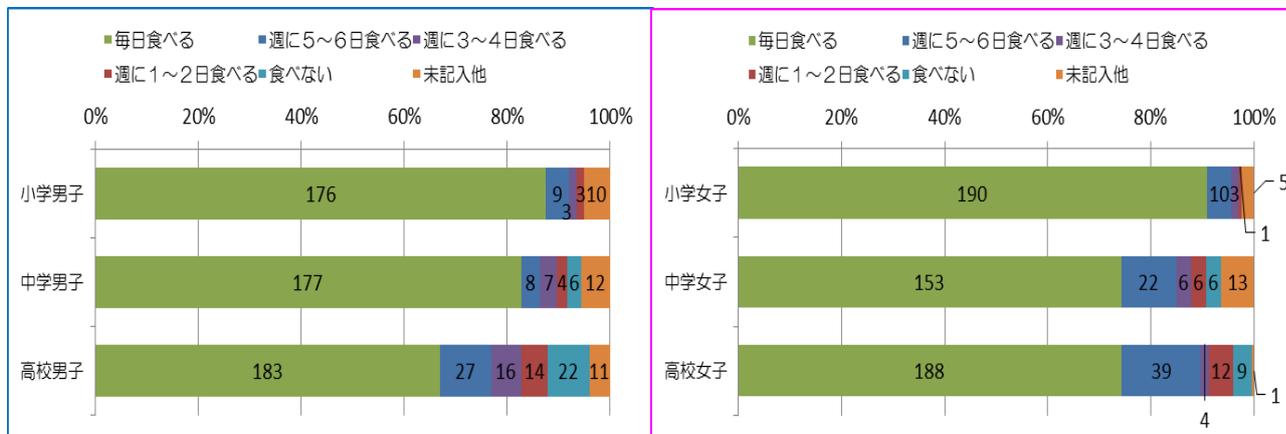


(2) 小学生・中学生・高校生

1) 朝食習慣

※グラフ内の数値は人数

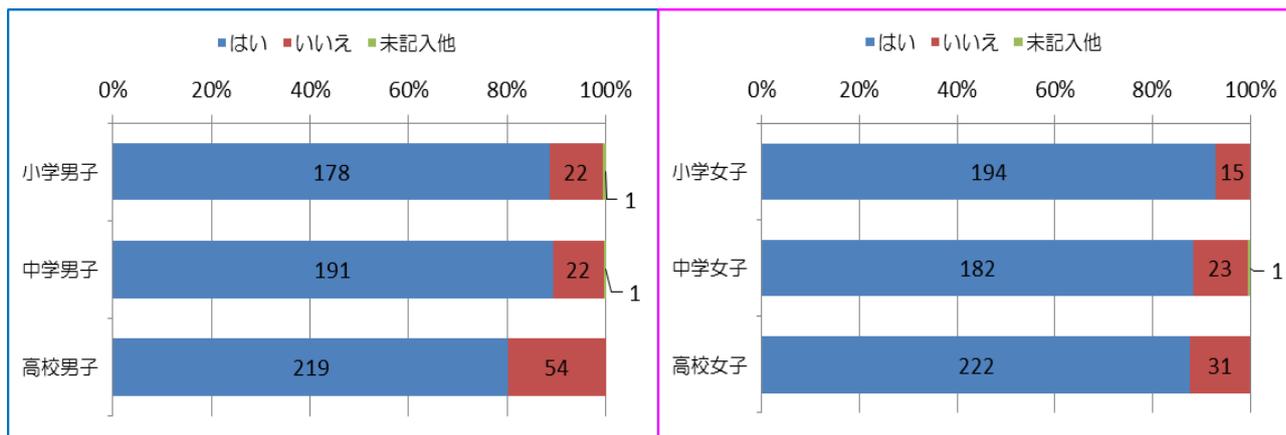
年代が上がるにつれ欠食する人の割合が増え、高校生では欠食する人が約3割いる。女子は中学生から欠食する人が2割以上いる。



2) 食事の場を楽しんでいるか

※グラフ内の数値は人数

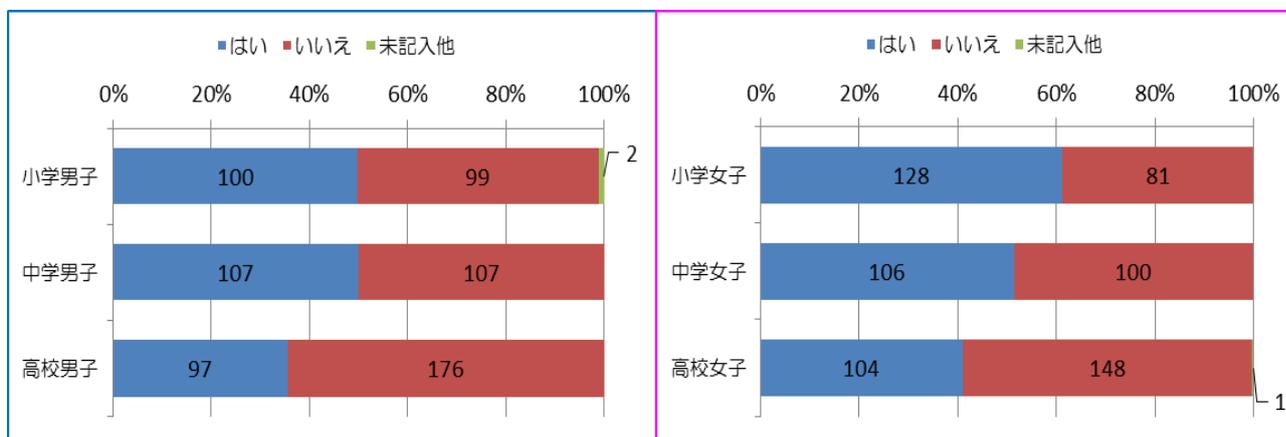
どの年代も1割が食事の場を楽しめていない。高校生の男子は2割が楽しめていない。



3) 塩分の多い物は食べないようにしているか

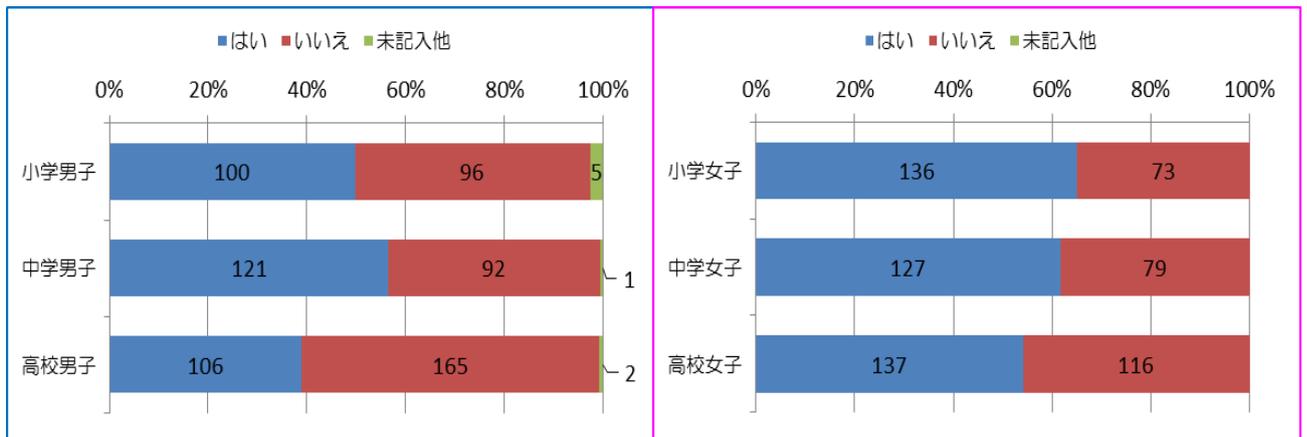
※グラフ内の数値は人数

年代が上がるにつれて意識が低下している。



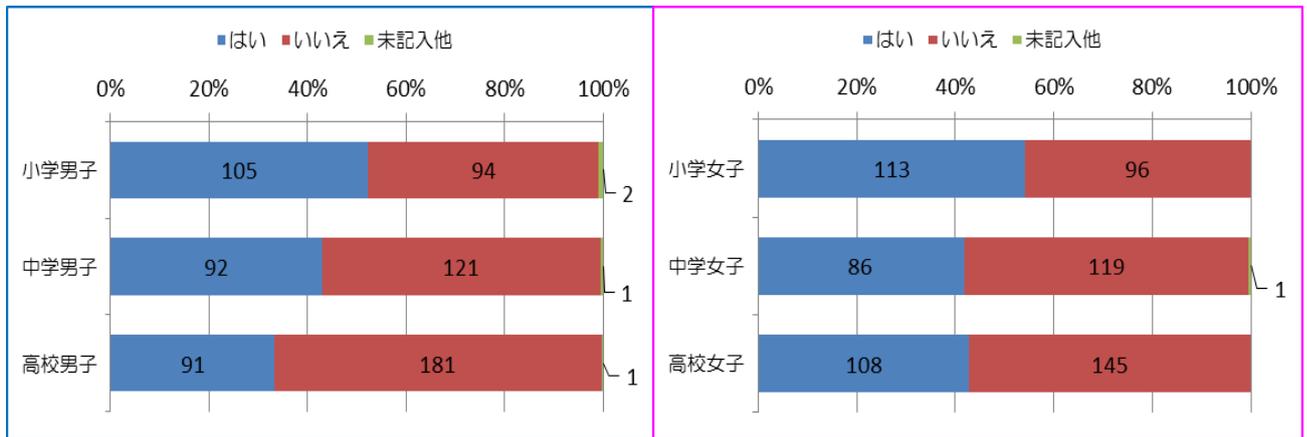
4) 脂っこいものをあまり食べないようにしているか
どの年代も女子の方が意識が高い。

※グラフ内の数値は人数



5) 甘いジュースやお菓子はあまり食べないようにしているか
年代が上がるにつれて意識が低下している。

※グラフ内の数値は人数

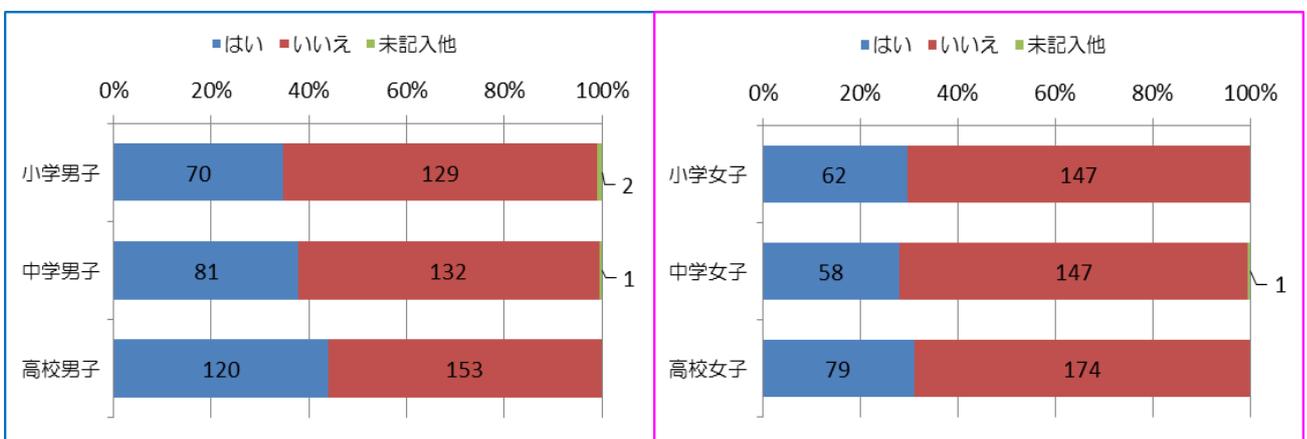


6) 食べ物の好き嫌いはないか。

※グラフ内の数値は人数

*ない⇒「はい」、あり⇒「いいえ」

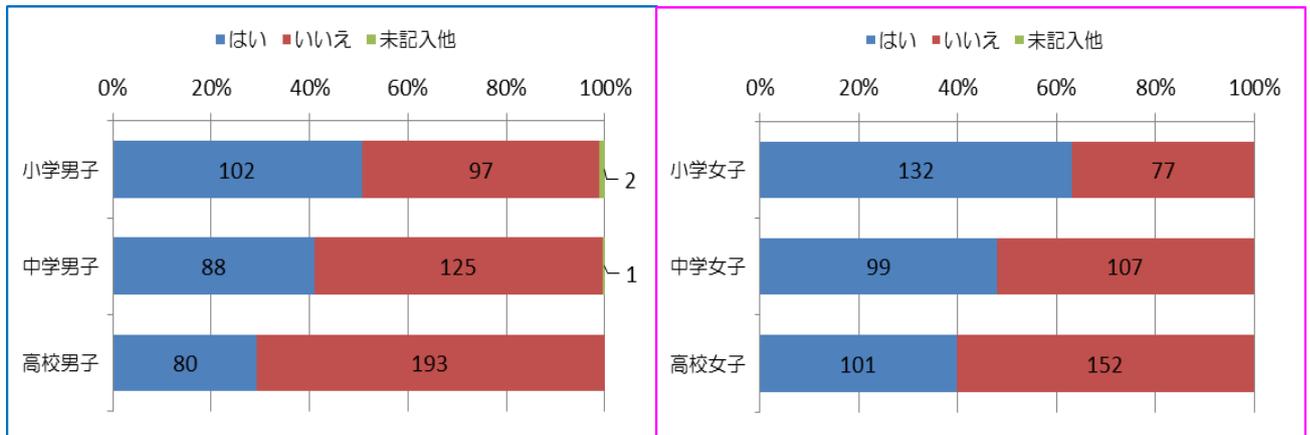
「好き嫌いなし」は3～4割程度。年代が上がるごとに微増。高校生は給食がないことも好き嫌いがなくなる一因と考えられる。



7) ゆっくり噛むように意識しているか

※グラフ内の数値は人数

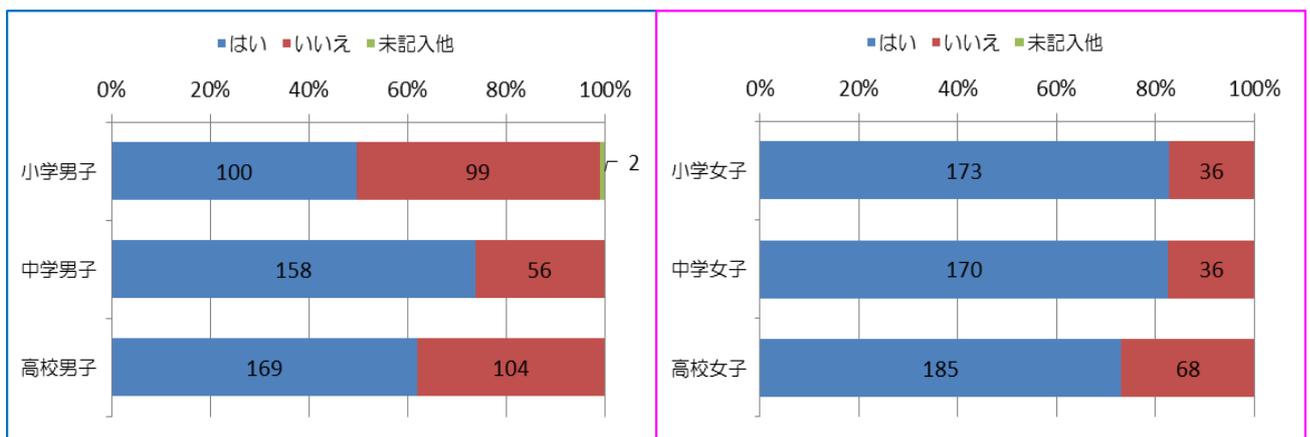
各年代とも男子よりも女子の方が意識が高い。



8) 野菜を食べるように意識しているか

※グラフ内の数値は人数

各年代とも男子よりも女子の方が意識が高く、特に小学生で性差が著明である。



9) 牛乳・乳製品を摂るように意識しているか

※グラフ内の数値は人数

高校生の意識が低い傾向にある。高校生の女子では最も低く、4割であった。給食がないことも影響していると考えられる。

